

Report

身近な自然の観察・記録活動 石神井川緑道版

2022.3.25

一人ひとりの自主活動 だれでも参加できます

活動：月2回(第二木曜日・第四金曜日)10:00より(雨天中止)
コース：帝京大学付属病院北詰・御成橋たもと → 金沢橋
問合せ・連絡先：090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail.co.jp

4月の石神井川観察は、4/14(木)、4/29(金)9:40JRマンション前
10:00 帝京大学病院北側の御成橋たもと出発

石神井川緑道 サクラ開花

ようやく春がやってきた

3/24は1か月ぶりの観察・記録活動でした。

まだ一分か二分咲きですが、緑道の桜が咲き始めました。
花見に訪れる人もちらほら。久しぶりに5人も集まって、ぞ



ろぞろと観察。桜を見な

いで下ばかり見つめているわたしたちの団に「なにしているのですか？」と興味を持ってくれる人が続出。メンバーの中に丁寧に説明してくれる人がいたので助かりました。

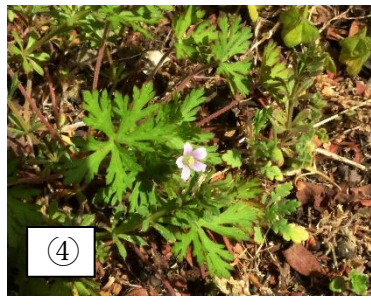
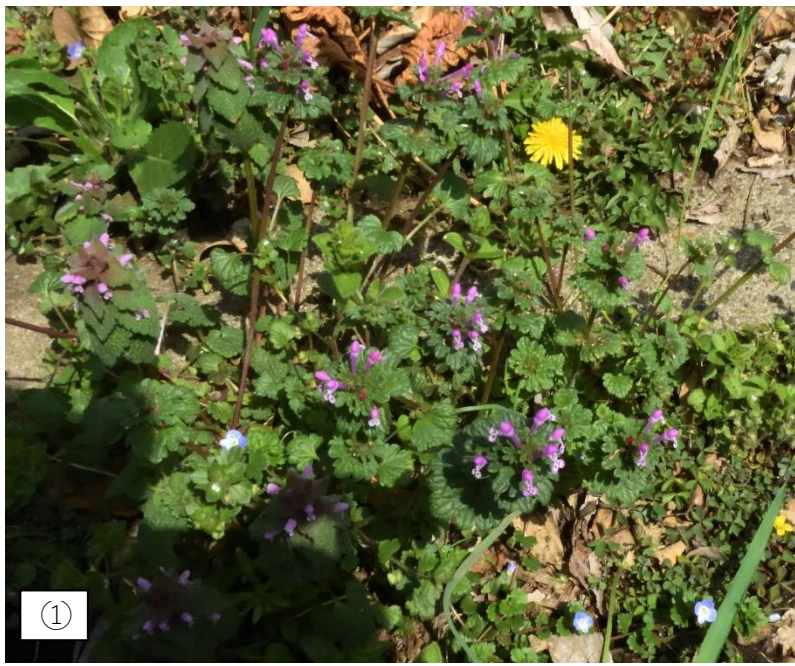
観察コースではないのですが、緑道に生きているニリンソウ、1か月前にはまだ色づかない小さな葉でしたが(左)、今日はもう咲いていました(下)。まだ、1輪が立ち上がっているだけ。あと1週間で花盛りになるでしょう。



春の花 勢揃い

次ページに掲載した5枚の写真に次の8種の花が写っているはず。前号に続いて、どれがどの花かを当ててください。オオイヌノフグリ、カラスノエンドウ、キュウリグサ、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、アメリカフウロ、ハナニラ、タンポポ交雑種





(添字) ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

「なるほどねえ」と勉強になる場面



コース沿いの民地で、根元から切り落とされている木がありました。サラサウツギという白くてきれいな花をつける木なのですが、幹が中空です。この木、漢字で書くと「更紗空木」。なるほど「空木（うつぎ）」と呼ばれるわけが分かりました。「どうして切ったの？ もったいないな」の聲が、観察仲間から上がりました。

毎回のよう「分からない??」植物登場

右の植物はカヤツリグサ科の植物です。でも同定（植物の名前を決定すること）ができません。イネ科の植物も結構同定が難しいのですが、カヤツリグサ科はもっと大変。同科のスゲ属を集めた『日本のスゲ』（文一総合出版）がもっとも詳しい図鑑だと思われるのですが、そこに収録されているのは実に1000種類。図鑑をめくればめくるほど頭が混乱してきて、結局「分かんねえ・・・」のが素人観察の悲しさです。

